

# 日本発達障害支援システム学会 2013年度 研究大会・研究セミナー

## ＝発表論文集＝

＝大会テーマ＝

# 『障害児者支援の専門性と多様なアプローチ』

●平成 25 年 12 月 15 日 (日) 12:00～17:00

●東京学芸大学 小金井キャンパス

東京都小金井市貫井北町 4-1-1

主催:日本発達障害支援システム学会

2013 年研究セミナー・研究大会実行委員会



## ご挨拶

### メインテーマ：「障害児者支援の専門性と多様なアプローチ」

このたび、日本発達障害システム学会の第12回研究セミナー／研究大会を、東京学芸大学・小金井キャンパスで開催させていただくことになりました。本学会は、発達障害者支援に関わる、障害者福祉、教育、労働、リハビリテーションなどの分野を主とした会員から構成されております。準備委員会一同は、今年度の研究セミナー／研究大会が、約900名の会員相互の活発な研究交流の場として、また新しい参加者や研究分野の裾野を拡大することに貢献できるよう、準備をすすめてまいりました。

研究セミナーのメインテーマには、「障害児者支援の専門性と多様なアプローチ」を掲げ、2題の教育講演を企画しました。教育講演Ⅰでは、帝京科学大学・医療科学部・作業療法学科教授の近藤知子先生に作業療法士としての立場からご講演をいただきます。また、教育講演Ⅱでは、東北文化学園大学・医療福祉学部・リハビリテーション学科教授の藤原加奈江先生に、言語聴覚士・臨床心理士としての立場からご講演をいただきます。近藤先生からは作業科学という視点から、藤原先生からは言語・コミュニケーション発達の視点からの興味深いお話をいただけることと思います。

研究セミナーに続く研究発表では、例年通り、5つの分科会に分かれての口頭発表と、ポスター発表の場を設けました。研究発表においても、事例研究、実践研究、調査研究、実験研究など、多様なアプローチによる充実した研究交流が行われ、参加者の皆様にとって新しい発見の場となりますことを期待しております。

最後に、会員の皆様をはじめ、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝いたします。

2013年12月

日本発達障害支援システム学会  
第12回研究セミナー／研究大会準備委員会  
実行委員長 林 安紀子

## 会場へのご案内

東京学芸大学 小金井キャンパス  
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

### ■最寄り駅

#### (1) JR 中央線 武蔵小金井駅・北口より

【京王バス】〔5番バス停〕「小平団地」行に乗車、約10分。  
「学芸大正門」下車、徒歩約3分(駅から徒歩の場合は約20分)

#### (2) JR 中央線 国分寺駅北口より

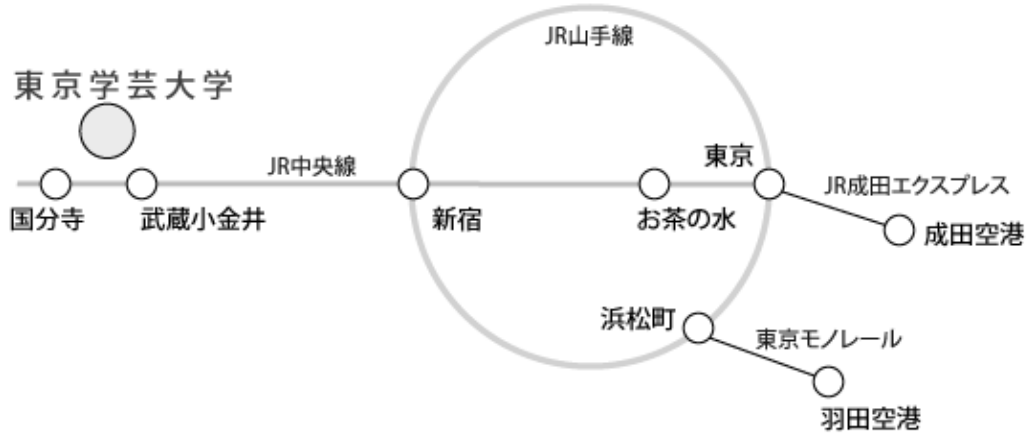
徒歩約20分

(JR 国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り／小金井市保健センター前)

※東急東横線「学芸大学」駅ではございませんのでご注意ください。

※国分寺駅から大学へのバスは出ておりません。

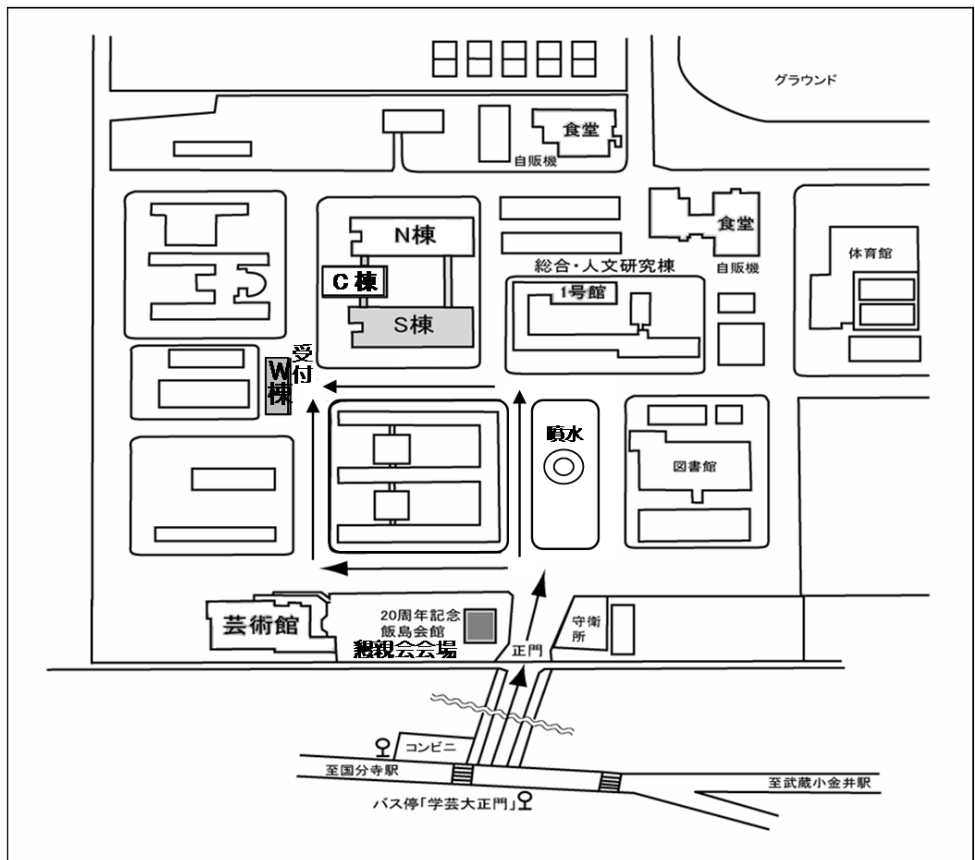
■路線図駅



■駅からのアクセス

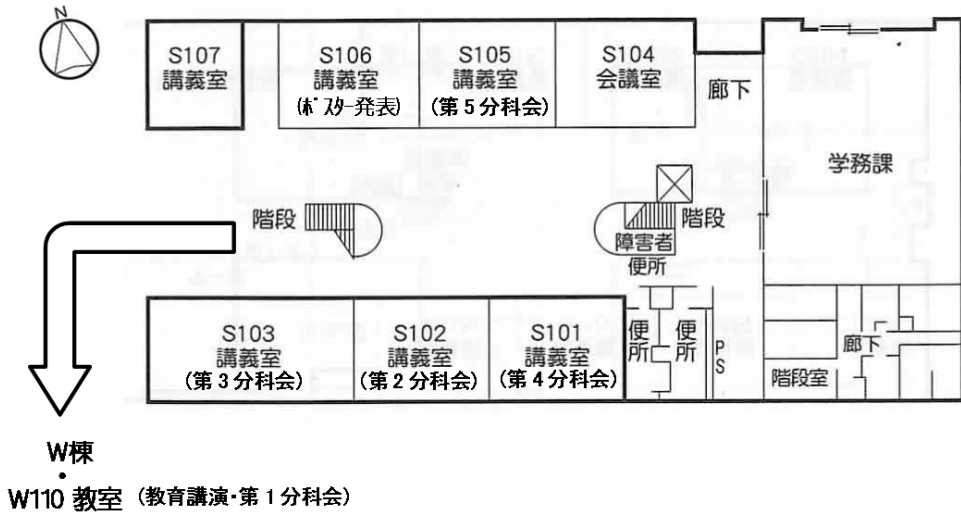


## 構内案内【東京学芸大学小金井キャンパス】



# 会場配置図

## 講義棟(S棟1階)平面図



## 会場案内

### 受付・記念講演

#### 講義棟(W棟)1階

- 受付 (W110 教室前) 【12:00～12:30】
- 教育講演Ⅰ (W110 教室) 【12:40～13:40】
- 教育講演Ⅱ (W110 教室) 【13:50～14:50】

### 口頭発表分科会会場 【掲示 15:00～17:00】

#### 講義棟(W棟・S棟)1階

- 第1分科会：W110 教室 [就労支援]
- 第2分科会：S102 教室 [コミュニケーション支援]
- 第3分科会：S103 教室 [生活支援／健康生活支援]
- 第4分科会：S101 教室 [生涯発達支援]
- 第5分科会：S105 教室 [支援ニーズ]

### ポスター発表会場 【掲示 15:30～17:00】 【在席 16:00～17:00】

#### 講義棟(S棟)1階 S106 教室

### 懇親会会場 【17:30～19:00】

飯島記念館 2階

# 参加者へのご案内

## I 受付

1. 大会期間中は受付でお渡しする参加章(氏名・所属を記入したもの)をお付けください。  
参加章は大会参加費の受領証を兼ねています。
2. 受付場所は教育講演会場(W110 教室前)前です。受付間は 12:00 から 12:30 までです。
3. 参加費等は以下の通りです。

参加費：事前申込の場合 3,000 円(12/5 まで)  
当日参加の場合 3,500 円

(いずれの参加費にも論文集代が含まれます。論文集は当日受付でお渡しします。)

発表費：1 演題あたり 1,000 円

懇親会参加費：事前申込の場合 3,000 円(12/5 まで)  
当日申込の場合 4,000 円

※事前申込の方は予め指定先にお振込み下さい  
(12/10 まで)

※当日参加の方は受付でお支払いください。

	事前申込 (12/5まで)	当日参加
参加費	3,000円	3,500円
発表費	1,000円	—
懇親会費	3,000円	4,000円

## II 会場関係

### 1. 会場

会場は西講義棟 W110 と南講義棟 S 棟の講義室を使用します。使用講義室は 1 階 W110 教室(教育講演 I・II、分科会)、S101・S102・S103・S403・S105・S106 教室(各分科会、ポスター発表)です。

### 2. 喫煙

本学構内では分煙措置を実施しております。

喫煙は建物外の喫煙指定場所をお願いします。

### 3. 駐車場

駐車スペースは限られておりますので、お車でのお越しはご遠慮ください。

## III 懇親会

大会終了後の 17:30~19:00 に飯島記念館 2 階にて行います。

懇親会は当日も参加受付をしますが、人数に限りがありますので、できるだけ事前にお申込みください。参加費は 3,000 円です。(当日参加 4,000 円)



#### IV 連絡先

会期前，会期中ともに，大会準備委員会(実施本部)への連絡は下記まで，電子メールでお願いします。実施本部では、当日15分ごとにメールチェックを行いますので、緊急の連絡などありましたら連絡先電話番号などをお知らせいただければ、メールチェック確認後、本部よりご連絡させていただきます。

日本発達障害支援システム学会第12回大会準備委員会

電子メール [jassdd@u-gakugei.ac.jp](mailto:jassdd@u-gakugei.ac.jp)

# 研究発表者へのご案内

## 【口頭発表】

### 1. 発表時間

- 1) 発表時間は1発表につき15分で、質疑応答の時間3分が含まれます。
- 2) ご自身の発表時間以外は、他の分科会場やポスター会場にいらっしゃっても構いません。但し、学会場から出てしまうことはご遠慮下さい。終了時間の17:00まではご参加頂くことが義務づけられます。
- 3) 進行係が以下のように時間経過をお知らせします。  
発表開始後10分：1鈴    12分：2鈴(発表終了)    15分：3鈴(質疑応答終了・交替)

### 2. 発表用機器

発表にパソコンを使用する方は、発表データを USB 接続フラッシュメモリに保存し、セッション開始前までに会場にお越し下さい。パソコンは、Windows 7 (パワーポイント2010)を用意いたします。なお、Macintosh 版データや動画などが含まれるデータは、映像に支障をきたす場合がありますので、パソコンをご持参下さい。

### 3. 座長の方へ

- 1) 座長の方は担当セッションの司会・進行をお願い致します。特に制限時間を厳守するようにお願い致します。
- 2) 各セッションに1名の座長をお願いしています。欠席の場合には新たに座長を決定しますので、前日までにE-mailにて大会準備委員会に必ずご連絡ください。

### 4. 質疑・討論について

質疑や意見を述べる際には、事前に所属・氏名を明らかにしてください。また、30秒以内に簡潔にお願いします。その他、座長の指示に従って、セッションの進行に支障がないようにしてください。

### 5. その他

- 1) 座長及び発表者は、セッション開始5分前までに当該分科会場に在席してください。
- 2) 研究発表の資料は発表論文集をあてるのが原則ですが、補足資料の配布が必要な場合には、事前に発表者が必要部数を用意し、各会場の資料配布台に置いてください。

### 【ポスター発表】

1. 発表者は、発表時間中ポスターを掲示すると同時に指定された時間出席し、参加者と質疑応答することにより、正式発表とみなされます。座長の進行のもと、簡潔に研究概要の説明と、質疑応答を行っていただきます。
2. 発表者は、総合受付にて発表受付を済ませ、発表開始5分前までにポスターの掲示を完了してください。
3. 掲示時間は15:00～17:00、在席責任時間は16:00～17:00です。ポスターは壁またはパーテーションに掲示してください。
4. ポスター掲示範囲は横幅80cm×縦150cm以内が適当です。ポスターの最上部には、発表題目(フォントサイズ目安:72ポイント)、発表者氏名(筆頭発表者に○を付ける)、及び所属を明示してください。本文は全紙、または何枚かに分けて貼る等の方法で掲示してください。文字の大きさや図、表の作成には特に注意してください。込み入った図や表の使用を避け、2m離れたところから全体を読めるようにしてください。
5. 掲示用のセロハンテープは会場内に用意してあります。
6. 当日資料を配布される方は、各自で必要部数を用意し、配布してください。個人情報との関係で、資料回収を必要とする場合は、発表者が責任をもって回収、処分してください。
7. 発表時間が終了したら、直ちにポスターを撤去してください。

# 大会スケジュール

12月15日(日)

会場	W110教室	S101教室	S102教室	S103教室	S105教室	S106教室
12:00	受付(教室前) 開会					
12:30						
12:40	教育講演Ⅰ 講師 近藤 知子 (帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科 教授)					
13:40						
13:50	教育講演Ⅱ 講師 藤原 加奈江 (東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科 教授)					
14:50						
15:00	第1分科会 就労支援 領域	第4分科会 生涯発達 支援領域	第2分科会 コミュニケーション 支援領域	第3分科会 生活支援 健康生活支援 領域	第5分科会 支援ニーズ 領域	ホスター発表 分科会  掲示: 15:00~17:00 発表者在席: 16:00~17:00
17:00						
17:30						
19:00	懇親会 (飯島記念館 2階)					

## プログラム案内

=第1部= (会場：W110 教室)

**教育講演 I** 12:40～13:40

『日常生活を切り取る多様な視点』  
—作業科学・作業療法の立場から—

### 【講師】

帝京科学大学 教授 近藤 知子

### 【講演者プロフィール】

現在、帝京科学大学医療科学部作業療法学科学科長・教授・Ph. D。日本、米国の作業療法士の免許を取得。聖マリアンナ医科大学病院、町立浜岡総合病院、広島大学医学部、国際日本文化センターを経て現在に至る。主な研究内容は 1.生きる力の回復における作業の果たす役割の研究 2.福祉機器の利活用、 3.作業療法教育に関する研究であり、障害をもつ人が、さまざまな作業を通して健康や自分らしさを回復していくことにも関連している。所属学会は、日本作業療法士協会、日本作業科学研究会、日本ハンドセラピィ学会 American Occupational Therapy Association などである。。

### 【主な著書】

- 2003年 『平成18年 図解作業療法技術ガイド』(文光堂.共著)
- 1997年 『ハンドセラピィ 5・末梢神経損傷』(メディカルプレス.共著)

## 教育講演Ⅱ

13:50～14:50

### 『障害児者支援の多様なアプローチ』

—言語療法士・臨床心理士の立場から—

#### 【講師】

東北文化学園大学 教授 藤原 加奈江

#### 【講演者プロフィール】

現在、東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻教授。言語聴覚士、臨床心理士の資格を持つ。東京都神経科学総合研究所、福岡教育大学障害児教育非常勤講師、北里大学衛生学部リハビリテーション科非常勤講師、宮城県中央地域子どもセンター非常勤心理判定員などを経て現在に至る。自閉症児のコミュニケーション障害および高次脳機能障害を研究テーマとしている。日本高次脳機能障害評議員、日本神経心理学会評議員、日本言語聴覚学会、日本心理臨床学会などの学会に所属する。

#### 【主な著書】

- 2001年 『失語症言語治療の基礎』（診断と治療社）
- 2005年 『2歳から始める自閉症の言語訓練』（診断と治療社）
- 2009年 『あなたがつくる支援プラン 困った行動が教えてくれる自閉症スペクトラムの支援—7つのステップで対応法を探る』（診断と治療社）

## ＝第2部＝

### 第1分科会 就労支援領域＝(W110 教室)

座長：細川かおり(東京福祉大学)

- 1-1 『子どもの「生活と発達の困難」の実態と特別支援教育コーディネーターの役割』  
池田敦子(東京都立南大沢学園)・田部絢子(大阪体育大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 1-2 『知的障害者の就労に関する要因についての一考察』  
尾高邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)・菅野敦(東京学芸大学)
- 1-3 『ニュージーランドにおける就労支援についての報告』  
横川拓也(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- 1-4 『成人自閉症者への就労支援(事例研究)』  
森由美子(Boston Higashi School)・高松明広(武蔵野東教育センター)・  
Ann S. Roberts(BHS) 海老原隆子(BHS)
- 1-5 『職業教育の視点から見た教科のかかわり』  
教野誠一(都立八王子特別支援学校)・細川信之、原智彦、諏訪肇(都立青峰学園)・  
菅野敦(東京学芸大学)
- 1-6 『職場実習の有効性を検証する』  
照沼潤二(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)・菅野敦(東京学芸大学)

### 第2分科会 コミュニケーション支援領域＝(S 102 教室)

座長：大伴潔(東京学芸大学)

- 2-1 『自閉症スペクトラム障害児の発話におけるプロソディの特徴』  
近藤綾子(東京学芸大学大学院)・出口利定(東京学芸大学)
- 2-2 『成人期自閉症者へのPECSを用いた支援体制とその実践報告』  
斗舛もも子、藤代涉史、山崎彰雄、守谷奈央子、石井沙耶香、竹下洋久  
(社会福祉法人湘南の風えいむ)
- 2-3 『実践における段階別目標設定とそのアプローチの有効性についての検討』  
山岡誉(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- 2-4 『知的障害生徒における言語指示における応答行動の形成』  
増澤貴宏(長野県木曾養護学校)
- 2-5 『成人期知的障害者の人間関係を形成するためのプログラム実践』  
坂口麻衣子、小淵公子、小林由紀子、高野竜、久津輪京子(社会福祉法人龍鳳)  
伊藤浩(社会福祉法人幸会)
- 2-6 『発達障害児における活動内の目標設定に関する条件の検討』  
住友政之(群馬大学大学院)・霜田浩信(群馬大学)

### 第3分科会 =生活支援／健康生活支援領域=(S103 教室)

座長：渡邊貴裕(順天堂大学)

- 3-1 『知的障害特別支援学校における健康管理に関する実践研究』  
渡邊貴裕(順天堂大学)・尾高邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)
- 3-2 『病弱特別支援学校寄宿舎における子どもの多様な「発達と生活の貧困」の実態と教育支援(第4報)』  
小野川文子(東京都立久留米特別支援学校)・田部絢子(大阪体育大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 3-3 『「課題校」と称される高校における特別支援教育の課題』  
竹本弥生(神奈川県立綾瀬西高校)・田部絢子(大阪体育大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 3-4 『障害の軽い生徒の自己肯定感を高める取り組み』  
辻村洋平、山崎達彦、諏訪肇(都立青峰学園)・菅野敦(東京学芸大学)
- 3-5 『病弱特別支援学校における生徒の進路指導に関する一考察』  
川池順也(東京学芸大学大学院)
- 3-6 『子育てメンタルサポートマップを用いた評価と支援』  
小林健史、橋本竜作(北海道医療大学)

### 第4分科会 =生涯発達支援領域=(S101 教室)

座長：伊藤浩(社会福祉法人幸会)

- 4-1 『感覚運動活動を通じた成人期重度知的障害者のコミュニケーションスキルに対するアプローチ』  
剣持勇氣、山賀真美子、佐々木夏莉、斉藤由佳(社会福祉法人龍鳳)・伊藤浩(社会福祉法人幸会)
- 4-2 『職業学科における移行支援』  
小澤信幸、小田部恵、諏訪肇(都立青峰学園)・菅野敦(東京学芸大学)
- 4-3 『「健康問題(身体・精神疾患)」の相談に関する研究』  
加藤昭和(県央福祉会三浦創生舎)・今枝史雄(大阪府立藤井寺支援学校)・菅野敦(東京学芸大学)
- 4-4 『知的障害者のライフプランに関する調査(1)』  
島田博祐(明星大学)・大沼健司(七生特別支援学校)・清水浩(宇都宮大学教育学部附属特別支援学校)
- 4-5 『特別支援学校を卒業した知的障害児施設入所者の地域移行に関する研究3』  
平井威(明星大学)・大沼健司(東京都立七生特別支援学校)
- 4-6 『ダウン症候群における加齢および退行による精神機能の変化に関する分析』  
伊藤浩(社会福祉法人幸会)・菅野敦(東京学芸大学)



## 第5分科会 =支援ニーズ領域=(S105 教室)

座長：爲川雄二(東北大学)

- 5-1 『学長・学部長調査からみた国立大学附属学校園の特別支援教育体制整備の実態と課題』  
石川衣紀(長崎大学)・田部絢子(大阪体育大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 5-2 『知的障害特別支援学校(高等部)の授業改善に関する一考察』  
石川敦士(帝京大学教職大学院)・渡邊貴裕(順天堂大学)
- 5-3 『知的障害児の社会生活能力に関するプロフィール分析』  
猪又聡美(東京学芸大学大学院)
- 5-4 『通常学級に在籍する発達障害の子どもに対する教員の意識』  
岡崎志乃(千葉大学大学院)・高橋智(東京学芸大学)・生川善雄(千葉大学)
- 5-5 『乳幼児における対象認知の発達に関する研究』  
早野留果(東京学芸大学大学院)・林安紀子(東京学芸大学)
- 5-6 『ウェブサイトを利用した発達障害アセスメント支援』  
爲川雄二(東北大学)・熊谷亮(東京学芸大学大学院)・橋本創一(東京学芸大学)

## ポスター発表分科会(S 106 教室)

座長：霜田浩信(群馬大学)

- P-1 『発達障害学生への修学支援方法の検討』  
霜田浩信(群馬大学)・星野常夫(文教大学)
- P-2 『職業学科における学科経営のあり方』  
永峯秀人、荻原稔、諏訪肇(都立青峰学園)・菅野敦(東京学芸大学)
- P-3 『知的障害者の入退院に関する事例的検討』  
京林由季子(岡山県立大学)
- P-4 『学齢期の Mowat-Wilson 症候群児をもつ保護者のニーズ』  
水澤実栄子(筑波大学大学院)・菅野和恵(筑波大学)
- P-5 『知的障害者福祉に求められる専門性に関する検討』  
小笠原拓(東京学芸大学大学院)・菅野敦(東京学芸大学)
- P-6 『保護者が教師に求める専門性に関する調査研究』  
宮崎義成(東京都立小平特別支援学校)・橋本創一(東京学芸大学)・  
霜田浩信(群馬大学)
- P-7 『学童保育所における特別な支援を要する児童に関する研究』  
歌代萌子(東京学芸大学大学院)
- P-8 『幼稚園児の発達評価に関する研究』  
荒平由美子(東京学芸大学大学院)・林安紀子(東京学芸大学)
- P-9 『障害福祉サービスにおける成人期知的・発達障害者の退行による支援ニーズに  
対する支援内容・方法に関する研究Ⅱ』  
西郷俊介(特定非営利活動法人大牟田知的障害者育成会ふれんず)

## 2013年度 研究セミナー・研究大会 大会実行委員会

- 実行委員長 林 安紀子 (東京学芸大学)
- 事務局長 橋本 創一(東京学芸大学)
- 実行委員 伊藤 浩(社会福祉法人 幸会)  
(五十音順) 大伴 潔(東京学芸大学)  
尾高 邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)  
菅野 敦(東京学芸大学)  
霜田 浩信(群馬大学)  
世木 秀明(千葉工業大学)  
爲川 雄二(東北大学)  
平井 威(明星大学)  
細川 かおり(東京福祉大学)  
横田 圭司(ながやまメンタルクリニック)  
渡邊 貴裕(順天堂大学)
- 大会事務局 田口 禎子(東京学芸大学)  
堂山 亞希(東京学芸大学)  
三浦 巧也(東京学芸大学)  
西村 裕子(日本発達障害支援システム学会事務局)

---

<大会会場>

東京学芸大学大学 小金井キャンパス  
〒184-8051 東京都小金井市貫井北町 4-1-1  
日本発達障害支援システム学会  
(東京学芸大学教育実践研究支援センター内)

E-mail : [office@jasssdd.org](mailto:office@jasssdd.org)

Homepage : <http://www.jasssdd.org>